

# 医療新世紀2010 クローズアップ整形外科 患者の選択肢を 大切にしたい 保存治療を目指す

丸山 公 先生  
関町病院院長・医学博士

関町病院では、整形外科とリハビリテーション科を二本柱に、患者の選択肢を大切にしながら医療の提供を心がけている。手術を「最後の手段」ととらえ、さまざまな治療法を駆使しながら保存治療を目指す。年間250を数える手術では、可能な限り関節内視鏡などを活用し、患者に低侵襲の手術を実践している。

## 整形外科とリハビリテーション科を二本柱に 手術を最後の手段ととらえ各種治療法を駆使

### 人の持つ再生能力を 最大限に生かして治療

関町病院は、1965年に開院して以来、地域に根付いた医療を展開している。診療療

養型病院として、整形外科に重きを置き、リハビリテーション科と連携しながら充実した医療サービスの提供を目指す。整形外科といえば、人工関節置換術など低侵襲手術が注



丸山 公 先生

まるやま・こう 1953年生まれ。79年、日本大学医学部卒業。81年、カナダ・トロント大学研究員。90年、日本大学医学部整形外科医局長。91年、公立阿佐留病院整形外科医長。93年、医学博士号取得。94年、日本大学医学部整形外科講師、教育医長。99年、医療法人社団運山会関町病院副院長、日本大学医学部整形外科非常勤講師。2001年から現職。オーストラリア・マドック大学客員教授。日本整形外科学会認定整形外科専門医

目されているが、「手術は最後の手段です。基本的には自分の体は自分で治すのが一番いいと思っています。もともと人間には再生能力があります。それを最大限に生かして、注射をしたり、サプリメントを使ったり、リハビリをしたり、いろいろな方法を駆使して治療していきます。これで3カ月から半年くらい様子を見て、どうしてもダメならMRIを見などと照らし合わせて手術を検討します」と同院院長の丸山公先生は話す。

たとえば、変形性膝関節症の場合、積極的に活用している



右) リコックプレートは長さやフックの深さも選択でき、その人に合ったプレートを使って手術する  
上) 超音波エコーを使い、全身麻酔の後に神経ブロックという首の根元のところに麻酔注射を打つ  
下) 頰骨のカーブに対応できるリコックプレート





「47床の病院ですが、13人の理学療法士がローテーションによりリハビリに対応しています」。丸山先生はラグビーチーム「横浜武蔵野アトラスターズ」のチーフチームドクターでもある



患者を支える看護師たち

るのが特殊軽量膝装具である。この装具を3カ月装着し、大腿四頭筋とハムストリング（ももの後ろ側の筋肉）の筋力強化、膝関節伸展訓練および下腿三頭筋のストレッチングなどの

運動療法を行ったところ、高い改善率を得ることができたという。

### 大腿骨、膝、肩など 2009年手術は250件

こうした各種方法を試みながら、効果が得られなければ選択肢の一つとして手術を検討する。その場合も、決断は患者本人に委ねている。

同院では、2009年（12月）は約250の手術を実施。一番多いのは大腿骨頭部骨折で、これに次ぐのが膝、肩の手術だ。

取材したこの日は、鎖骨骨折の手術が行われた。外側3分の1部分の鎖骨骨折で、皮質

が薄いため、丸山先生が開発した骨再建のためのリコンストラクション形状のフックプレート（通称リコフックプレート）で固定しようという手術だ。「鎖骨はS字状に彎曲していますが、リコンストラクションなら水平方向にも垂直方向にも、鎖骨の形状に合わせたものを手術中に曲げてつくることができます。1997年からリコフックプレートの手術を行っています。ハンドメイクできるのが魅力ですね」と丸山先生は強調する。

### 関節内視鏡など 低侵襲手術を心がける

関町病院では、関節内視鏡手術をはじめ、可能な限り低侵襲手術で対応している。半月板の手術はもちろん、変形性関節症で関節の内側の滑膜を削ったり、変形した骨棘を削ったり、骨の破片を除去したりするときは内視鏡を活用し、09年は約100件の手術が行われた。

丸山先生は、「低侵襲手術といっても、外の傷が小さくて中身の損傷は必ずしも小さい



リウマチ患者を診るの14日本大学医学部教授の澤田滋正先生（手前）、4つの生物学的製剤を使って対応しているという

とは限らないことがあります。また、個々の傷が小さくても合わせると大きくなる可能性があります。傷は小さいにこしたことはありませんが、きちんと修復をすることが大切ですし、弱い組織にはそれに対応した術式が必要と考えます」という。

### 13人の理学療法士が 土日もリハビリを実施

関町病院では、13人の理学療法士（PT）を中心にローテーションを組み、土日も含めてリハビリテーションを行っている。「当院では、整形外科とリハビリテーション科が二本柱です。手術からリハビリまで一貫して提供し、もともと

歩ける方だったから杖一本で歩けるようになるまで責任を持って患者さんを応援していきます」と丸山先生、そして「患者さんも、自ら治すというよう意識を変えてもらうことが大切です。最終的にはご本人が決めることですが、できるだけ自分の組織で治せるよう、これからも診療努力を続けていきます」と決意を述べる。

### 医療法人社団遠山会 関町病院

〒177-0051 東京都練馬区関町北1-6-19  
TEL.03-3920-0532 FAX.03-3920-0531  
http://sekimachi.hosp.gr.jp/

【診療科目】  
整形外科、リハビリテーション科、内科、外科  
【受付時間】9:00～11:30 / 13:30～17:30  
【休診日】日・祝